



■ 学校教育目標

『自ら・共に拓く堺小っ子』

- 進んで考える子
- 思いやりのある子
- 心と体をきたえる子

発行日: 令和7年12月24日

“こどもまんなか”で考えた1年でした

校長 櫻井亮

明日で2学期が終了し、2025年も残すところあと一週間足らずとなりました。

もともと少雪の浦河ですが、今年は（今年も？）ホワイトクリスマスは望めそうにありませんね。それでもクリスマスは子どもも大人も寒い冬を楽しく温かい気持ちにさせてくれる素敵なお祭りだと思っています。

どうかすべての子どもたちにとって嬉しい思い出ができますように・・・。



さて、9月29日、堺町小PTAの研修事業の一環として「CAP おとなワークショップ」が行われました。

当日は、16名の保護者・教員にご参加をいただきました。

CAPは、子どもたちがあらゆる暴力（虐待、いじめ、誘拐、痴漢など）から自分を守るための人権教育プログラムです。



暴力は、地域で・学校で・家庭で起こりうるものであり、子どもはそれらの暴力を受けやすい存在です。安心・自信・自由という、誰もが等しく持っている権利（人権）を自分たちは持っているんだ！その権利を守るために、信頼できる誰かに相談したり、守る方法を身につけることは大事なことなんだ！…そういうことを子どもたちが理解し行動することと共に、大人たちも理解し、子どもを育てていくことができたら良いな、と思いました。

安心や心地良さを感じ、自分に自信をもつことができたら、子どもたちは自分らしさを表現でき、いきいきと過ごせるのではないか…。毎日の生活の中で、勉強や友達関係のこと等で失敗やまちがったことをしたときに、やり直し（してしまったことを振り返り、次はどうしたら良いかを考える）のチャンスがあれば、子どもたちはまた一つ成長するのではないか…今の子どもたちを見つめ、関わってきた中で、私が強く感じていることです。

これからも、すべての子どもたちの「安心・自信・自由」が守られ、安心して育つことができる日常をつくっていきたいですし、子どもの「どうしたい」という思いを大切にしながら、子どもの主体的な学び・活動を支援する“伴走者”に私たち大人がなるよう、学校と家庭・地域が子どもを真ん中に据えて一緒に考え、取り組んでいきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

今年一年、大変お世話になりました。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。